

## 北区地域公共交通に関する意見交換会（会議概要）

### 1 開催日時

平成 30 年 1 月 24 日（水）午後 1 時 30 分～午後 2 時 15 分

### 2 会場

北区文化会館 練習室 1

### 3 出席者（敬称略）

#### 【委員等】

新潟市消費者協会 豊栄支部 監事	船山 敏子（代理出席）
はまなす「地域交通」研究会 座長	村山 和夫
はまなす「地域交通」研究会 事務局長	阿部 元良
島見町・太郎代地区バス運営委員会 会長	小熊 明彦（欠席）
島見町・太郎代地区バス運営委員会 副会長	阿部 康夫
東港タクシー株式会社 専務	丸山 俊夫
アイ・ケアアライアンス株式会社 統括運行管理者	大塚 玲
新潟交通株式会社 乗合バス部 企画調整課 監理調整担当係長	安達 邦和（欠席）
新潟交通観光バス株式会社 取締役部長	大橋 信宏
新潟市ハイヤータクシー協会 専務理事	佐々木 紀彦
新潟運輸支局 運輸企画専門官	廣井 和幸（欠席）
新潟北警察署 交通課長	金塚 傑之
新潟市北区 建設課長	濱崎 憲夫
新潟市北区 北出張所長	田辺 信一（欠席）
新潟市北区 副区長兼地域課長	佐々木 勇

#### 【事務局】

新潟市北区 企画係長	尾崎 利枝子
新潟市北区 企画係副主査	貝瀬 千里

#### 【傍聴者】

1 名

#### 4 意見交換事項

##### ○陽光・松浜・濁川地区バス運行計画（変更）について

資料 1-1 「【北区】陽光・松浜・濁川地区バス運行計画（変更）について〈概要版〉」

別紙（資料 1-1 関連）「（参考）運行ダイヤについて」

資料 1-2 「【北区】陽光・松浜・濁川地区バス運行計画（変更）について（案）」

に基づき、事務局が説明した。

##### ○陽光・松浜・濁川地区バス運行計画（変更）について（意見・質疑応答）

###### ・ 佐々木（紀）委員

住民バスにおいて必要な収支率を下回り欠損が出た場合、地域交通団体の自己負担が生じる可能性があるとのことだが、現状はどのようになっているのか。

###### ・ 事務局

ここ 4-5 年は必要な収支率を上回る実績となっているため、自己負担は生じていない。しかし、運行開始当初には自己負担が発生した年度もあった。

###### ・ 村山委員

平成 29 年度については、1.4%ほどの欠損が出るものと見込んでいる。しかし昨年度実績から 1.7%分の繰り越しがあるため、新潟市から補填を受けられる予定である。したがって、今年度の自己負担はないのではないかと考えている。

###### ・ 佐々木（紀）委員

「シニア半わり」制度を導入したとして、運営全体にどのような影響があるのか。

###### ・ 村山委員

運賃体系変更と「シニア半わり」制度により、当バスの 65 歳以上の利用者全員が「シニア半わり」に登録するかといえば疑問はある。制度導入にあたり、りゅーとカード購入が必要となるため、普段から新潟交通を利用する客にとっては特に問題ないものと思うが、当バスのみを利用する客にはカード購入という負担が生じてしまう。このため、回数券を残している。

###### ・ 阿部（元）委員

制度導入の条件であるりゅーとカードの保有のため、新潟交通の営業所に利用者本人が出向いて登録する必要がある。これに対応するため、当研究会にて送迎サービスを行うこととし、地域住民に希望を募った。しかし、現時点で希望者はゼロである。私見ではあるが、既に地域住民の多くがりゅーとカードを保有しているのでは



べて利便性に制限ができたものと思う。変更当初は地域から抵抗や反対の声はなかったのか。

・事務局

変更当初は苦情もあったが、説明を繰り返し行うことで、徐々に理解してきてもらえていると考えている。

・副区長兼地域課長

公共交通という性質を考えると、個別に車両を運行させるよりも、乗り合ってもらいたいと考えている。

・佐々木（紀）委員

デマンド交通について、相乗りは家族同士が多いのか、あるいは他人同士での利用もあるのか。

・事務局

予約期限を設け、利用希望者同士のマッチングを運行事業者をお願いしているため、他人同士の相乗りが増えている。フルデマンドの頃は、家族あるいは知人同士の自発的な誘い合わせに頼らざるを得なかったが、時刻を設定したことにより、マッチングがより多くできるようになった。

・佐々木（紀）委員

デマンド交通について、タクシー事業者から予約期限が1時間前ではマッチング作業が難しいとの声があるのではないか。

・副区長兼地域課長

平成29年7月の運行計画変更では、予約期限を前日に設定した。しかし利用者から利用しにくいとの声が多数あったほか、利用者数が大幅に減少したことから、平成29年10月の見直しでフルデマンドの頃と同じく予約期限を1時間前とした。タクシー事業者にはマッチング作業に関して負担をお願いすることとなったが、ご協力いただいているところだ。

・佐々木（紀）委員

デマンド交通についても、住民バスと同様に必要な収支率はあるのか。

- ・副区長兼地域課長

デマンド交通については、運賃収入額とタクシーメーター表示額の差額は全額について本市が負担しているという形で行っている。